

ながさき

井戸端
パーティー

IDOBATA PARTY

井戸端が盛り上がると、
毎日がもっと楽しくなる。できる事から
少しずつ
交流をしよう

今回は、コロナ禍で地域の結びつきが心配される今だからこそ知ってほしい、身近なつながりをつくるきっかけ、「ながさき井戸端パーティー」のお話。舞踏会のようなパーティー…?ではありません。長崎市に住む人はもちろん、働く人、学ぶ人たちがお互いに「顔見知り」になることを目的とした交流のことです。

まずは長崎市の現状をいっしょに確認して、その後、井戸端パーティーをご紹介します。

肩ひじ張らず「気軽に顔見知りから」「ちょっとのぞいてみようかな」。最後は、そんな気持ちになってもらえたらと思います。

地域支援室 (☎829-1418)

押さえておきたい! ①

井戸端パーティー シンボルマーク



井戸端パーティーの「戸」を吹き出しに見立てたキャラクターです。活発な印象のオレンジカラーと、長崎らしさとして戸の帽子部分はくんちの正装である山高帽をイメージ。

長崎を代表するまつり、くんちのように、活動が広がって欲しいという思いを込めています。名前は、ひそかに募集中…!

押さえておきたい! ②

井戸端パーティーは「長崎市版 隣人祭り」

「隣人祭り」とは、1999年にフランス・パリで起きた高齢者の孤独死をきっかけに、近隣の人々が自発的に「顔の見える関係をつくっていこう」と、食事の持ち寄り会を始めた取り組みのことをいいます。

「隣人祭り」のように皆さんが自発的にさまざまな取り組みができるよう、長崎市は、そのお手伝いをするため「ながさき井戸端パーティー」の仕組みをつくりました。